

神戸市立図書館資料収集基準

第1 目的

この基準は、神戸市立図書館資料取扱要綱（以下「要綱」という。）第9条の規定に基づき、適正に資料を収集するための具体的基準を示すことを目的とする。

第2 基本的考え方

資料の収集に当たっては、要綱の基本方針にのっとり、次にあげる事項に留意する。

- (1) 資料購入のための予算及び配架スペースを考慮し、より多くの市民が利用できる資料を優先的に収集する。
- (2) 一部の利用者による特定分野への集中的なリクエストが蔵書構成のバランス及び利用者全体に対する公平性を損なうおそれがある場合は、これを制限することも検討する。
- (3) 同一資料の収集は、利用状況、予約状況に応じて購入するが、全館で購入する上限冊数を設ける。ただし、市民からの寄贈本はこの限りではない。

第3 共通基準

(1) 基本となる観点

- ① バランスのとれた蔵書構成を目指し、入門書、解説書から専門書まで、国・地域別、時代別、言語等に留意し、体系的に収集する。
- ② 図書館全体で資料を共有し、提供することを前提として計画的に収集する。
- ③ 内容が古いものや根拠が不明確な資料は避け、社会の変化にあわせ新しさや正確性、客観性等を考慮して収集する。
- ④ 情報の更新が早い、又は社会的に関心が寄せられている分野については、多様な観点から資料の充実を図り、積極的に収集する。
- ⑤ 一時的な流行、宣伝・広告やマスコミ等で取り上げられた話題・出来事、興味本位のテーマに関する資料は、一過性の資料に偏らないよう選択的に収集する。
- ⑥ 異説、俗説等が多い、又は対立する意見が多い分野については、中立性、客観性に留意し、バランスよく選択的に収集する。
- ⑦ 同種のテーマや内容、形式で多様な作品が大量に出版される分野については、バランスのとれた収集が困難なため、一部の利用者の要望に偏ることなく、予約状況、類書の有無、利用見込みなどに留意して選択的に収集する。

(2) 刊行の形態による基準

- ① シリーズ、全集、双書は、原則として欠号が無いように継続して収集する。ただし、シリーズ全体の関係性が低く、各巻が独立した内容で個々に利用できる場合は選択的に購入する。
- ② 文庫版については、予約状況や複本冊数、利用の見込みなどに留意して判断する。

第4 収集の姿勢

収集の姿勢を以下の順で表すものとする。

- (1) 網羅的に収集する
- (2) 積極的に収集する（優先的に収集する）
- (3) 幅広く収集する（体系的に収集する）
- (4) 選択的に収集する
- (5) 限定的に収集する

第5 種類別基準

(1) 一般図書

一般書は、出版点数、分野とも最も多く、図書館の蔵書構成の中核となる資料であり、市民各層からの多様な要求に応えるため、特に各分野にわたる網羅的で、かつバランスのとれた収集を心がける。

① 総記

ア 図書館の利用法、読書活動及び読書の手助けとなる書評等は積極的に収集する。

イ 図書館学、出版に関連する資料は積極的に収集する。

ウ 百科事典、年鑑、白書など市民の調べ物に役立つ資料は幅広く収集する。

② 哲学・宗教

ア 心理学関係の資料は入門書から専門書まで、全集も含めて、主要なものを網羅的に収集する。

イ 超心理学、心霊・易占関係の資料は、選択的に収集する。

ウ 人生訓関係の資料は、限定的に収集する。

エ 宗教関係の資料は、特定宗教等に偏ることなく、各宗派の原典や研究、解説書を中心に幅広く収集する。

オ 新興宗教関係の資料は、主要な宗教の経典、教義の解説書と教団研究の資料を選択的に収集する。

③ 歴史・地理・地誌・紀行

ア 歴史関係の資料は、世界史、各国史は各時代のものを幅広く収集する。

イ 地方小出版社の出版物又は特定地域を扱った資料は、地域や内容により選択的に収集する。

ウ 伝記関係の資料は、記述の正確性に留意し、各分野の代表的な人物を中心に国内外の歴史的人物の伝記及び研究書を積極的に収集する。

エ 地理、地誌関係の資料は、世界各国、各地域について情報を提供できるよう網羅的に収集する。

オ 地図、旅行ガイドブック等については、情報の更新が早く活用できる期間が比較的短いものが多いため、情報の信頼性が高く、利用が多い資料を優先的に収集する。

カ 中央図書館では、情報が少ない地域の資料に留意し、専門書や研究書、日本史の史料集も積極的に収集する。

④ 社会科学

ア 社会・文化事情関係の資料は、時事性・地域性に留意し、世界各国、各地域についての資料を幅広く収集する。また、社会的な関心が高い事象について書かれた資料を優先的に収集する。

イ 法律関係の資料は、各法規の入門書や基本的実用書から専門書まで体系的に収集する。また、情報の更新に留意し、新法の施行・法令の改正など市民生活に影響が大きい場合は積極的に収集する。

ウ 経済・経営関係の資料は、基本的な学術書や経済情勢についての資料だけでなく、市民の就労やビジネス支援に役立つ実務書等も積極的に収集する。

エ 資格等取得のための試験問題集は、資格等の評価・専門性、類書の有無、利用実態等を考慮して長期間利用できる資料を限定的に収集する。

オ 投資・利殖関係の資料は、選択的に収集する。

カ 社会問題関係の資料は、市民生活にかかわりが深く、社会的に関心が高い問題を扱った資料を積極的に収集する。

キ 教育関係の資料は、学校、家庭、社会等の各教育において、基本的な学術書・研究書から教育現場における実用的なものまで幅広く収集する。教師向けの実用書に類する資料については、一般の利用者にも役立つものを限定的に収集する。

ク 学校案内は、情報の新しさに留意しつつ、校種別に選択的に収集する。

⑤ 自然科学

ア 科学関係の資料は、今日的话题、最新の研究成果に留意し、入門書から専門書まで幅広く収集する。ただし利用対象が限定される高度な専門書は限定的に収集する。

イ 医学・薬学関係の資料は、市民の安全に直接関わるものであることに留意し、健康・医療情報を求める市民を支援する資料を幅広く収集する。

⑥ 技術・工学・家政学

ア 技術・工学関係の資料は、環境問題等今日的话题・社会的関心が高まっている分野や、その進歩に対応した最新情報が必要な分野の資料を多様な観点から積極的に収集する。

イ 衣服、料理、育児等の家政学関係の資料は、日常生活に役立つ実用性の高い資料を中心に積極的に収集する。

⑦ 産業

ア 産業関係の資料は、入門書、実務書など実用的なものから研究書まで幅広く収集する。

イ 商業関係の資料は、市民のビジネス支援に役立つ実用書、専門書、参考図書等も選択的に収集する。

ウ 地域に関わりの深い産業の資料は、積極的に収集する。

⑧ 芸術・スポーツ・諸芸

ア 芸術関係の資料は、市民の趣味、娯楽、教養に資する資料を著名な作品、作家等を中心に幅広く収集する。

イ 漫画については、地域・郷土に関連する著作、社会的評価が定まっている著作、各種の受賞作・書評等に取り上げられた著作の中から、原則としてシリーズの刊行が完結しているものを選択的に収集する。

ウ 楽譜については、冊子形態のものを選択的に収集する。

エ 美術・演劇などに関する資料は、長期的に評価される資料を選択的に収集する。

オ 芸能人・芸能界に関する資料は、芸能界全体やその時代の文化を代表する、評価の定まった芸能人等について自伝・評伝、研究書等を中心に選択的に収集する。

カ スポーツ関係の資料は、各種スポーツの紹介、手引書、ルール集など市民の実用、観戦に役立つものを優先的に収集する。

キ コンピュータゲーム関係の資料は、文化的な評論、研究書等を選択的に収集する。

⑨ 言語

ア 語学関係の資料は、地域の事情に即して日本語をはじめ、要望の多い言語に関する資料を中心に、各言語に関する資料を幅広く収集する。

イ 辞典については、主に参考図書として収集するほか、貸出の用途に留意して主要な外国語の軽易な辞書類を選択的に収集する。

ウ 外国語会話の資料は、要望が多い言語の資料を中心に、付録媒体の取扱い・耐久性・装備などにも留意し、各言語の資料を幅広く収集する。

⑩ 文学

ア 評価の定まった古典文学から最新の現代文学まで、時事性・話題性・地域性にも留意し、各国の文学作品、研究書等を幅広く収集する。

イ 著名な作家、文学者については、個々の作品だけではなく個人全集、伝記、作家研究、評論等も積極的に収集する。

ウ 歌集、句集、詩集は選択的に収集する。

エ 個々の小説などについては、一時の流行や話題にのぼった作家・作品又は一部の利用者の要望や特定分野に偏らないよう留意し、選択的に収集する。

(2) 児童図書

児童図書は、乳幼児から小・中学生が主な利用対象となるため、子供の能力や発達段階に配慮した収集を行う。子供の健やかな成長に有益と思われる資料、子供が自主的に読書の楽しさを発見し、読書習慣の形成、継続に役立つ資料、豊かな想像力を育て、知識を広げる資料の収集に努める。

収集にあたって以下の資料に留意する。

- ① 基本的な児童図書やよく利用される調べ学習用図書は、需要に応じて複数収集する。
- ② 評価の定まった資料は、複本購入や定期的な買い替えに努める。
- ③ 児童図書の研究資料や、子供の読書に関わるボランティア活動支援の入門書やブックガイド、学校図書館の運営支援に役立つ資料は積極的に収集する。
- ④ 厚紙絵本、立体的しかけ絵本など破損しやすい形態の資料であっても、赤ちゃん絵本など有益とする理由がある資料は選択的に収集する。
- ⑤ テレビ放映のキャラクター等を扱ったものは、一過性の需要でないか慎重に判断し、限定的に収集する。

ア 絵本

- A 子供の情緒的経験を広げ、想像力を養う絵本を幅広く収集する。
- B 評価の定まった作家の絵本は積極的に収集する。
- C 各賞の受賞作品は積極的に収集する。
- D 個々の絵本については、以下の点に留意する。
 - i 絵の表現力や芸術性、絵とストーリーの調和、文学としての質を重視する。
 - ii 乳幼児向け絵本は、発達段階や装丁の安全性を考慮し、丁寧に作られているものを収集する。
 - iii 昔話絵本は、安易な再話でないか、また絵は再話と調和しているか、比較検討して収集する。
 - iv 名作や古典は積極的に収集する。対象年齢を不必要に低くしたり、書き換えの度合いの大きすぎる抄訳は、比較検討して限定的に収集する。
 - v 科学絵本や知識の絵本は、正しい情報に基づき、楽しみながら知識を得、さらに好奇心を抱けるように作られているものを収集する。
 - vi しかけ絵本、付属物がある絵本等は、子供の安全性、資料の耐久性を考慮し限定的に収集する。
 - vii 読み聞かせなどの行事にも利用できる大型絵本等は選択的に収集する。
 - viii 形態が絵本であっても成人を対象とするものは、一般図書として検討する。

イ よみもの・フィクション

- A 子供の豊かな感情や表現力を育て、生きる力を育む作品を幅広く収集する。
- B 絵本から物語へ移行する年代の子供が楽しめる作品を積極的に収集する
- C 評価の定まった作家の作品は積極的に収集する。
- D 子供に支持されている作品に留意する。
- E 個々の資料については、以下の点に留意する。
 - i テーマの表現力や構成力、独創性、文学としての質を重視する。
 - ii 名作や古典は積極的に収集する。対象年齢を不必要に低くしたり、書き換えの度合いの大きすぎる抄訳は、比較検討して限定的に収集する。

iii 各国、各地方の昔話や伝説は、適切に再話がなされているものを収集する。

ウ ノンフィクション・知識の本

A 事典、辞典、図鑑、年鑑等の参考図書は体系的に収集する。

B 調べ学習に役立つ資料を積極的に収集する。

C 評価の定まった古典的名著は積極的に収集する。

D 神戸市に関連する資料は積極的に収集する。

E 個々の資料については、以下の点に留意する。

i 内容は正確で、読みやすいか。

ii 最新の情報を盛り込み、かつ子供の理解力に応じた説明がなされているか。

iii 説明には、安全のための予防的配慮が含まれているか。

iv 明瞭で正確な写真、絵、グラフ、地図等で子供の理解を助けているか。

v 索引や目次が、適切につけられているか。

vi 難しいテーマを対象年齢に合わせるため、内容が乏しくなっていないか。

vii 伝記は、不必要に対象年齢を下げていないか。

エ 紙芝居

創作・民話・知識など各分野にわたり選択的に収集する。

オ 逐次刊行物（雑誌・新聞）

A 調べ学習に役立つ新聞や雑誌を選択的に収集する。

B 発達段階や児童・青少年の文化、教養、興味に応じて選択的に収集する。

カ 学習漫画

A 漫画を使うことによって難しいテーマを親しみやすく説明できているものを選択的に収集する。

B 文学作品を漫画化したものは、日本の古典文学等、親しみやすい抄訳が難しいものを限定的に収集する。

(3) 青少年用図書

特に心身の変化が著しい年代を利用対象とするため、その成長を助け、豊かな心を育てるのに役立つ資料、その年代にとって特に関わりが深い分野については、新鮮な情報を扱った資料の収集を心掛ける。

中学生、高校生を主要対象とする資料を中心に幅広く収集するほか、児童図書、成人用図書の中からも、興味や関心を深め知性や感性を豊かにする資料を収集する。

(4) 参考図書

① 調査・研究に役立つ専門的な資料を各分野にわたり体系的に収集する。

- ② 年鑑・白書・統計書等の定期的に刊行される資料は、継続的な収集と保存に努める。
- ③ 調査・研究をするうえで有用な CD-ROM などの電子媒体資料は、選択的に収集する。
- ④ 情報の更新の早い分野については、加除資料を選択的に収集する。
- ⑤ 地域図書館は、簡易な調査研究に役立つ基礎的な資料を各分野にわたり、選択的に収集する。

(5) 郷土資料・行政資料

- ① 神戸市に関する資料については、図書、新聞、雑誌、地図等は形態に係らず積極的に収集する。また、古書、私家版等の情報にも留意し、積極的な収集に努める。
- ② 阪神・淡路大震災に関する資料は、網羅的に収集する。
- ③ 郷土資料は、保存を前提として複本の収集に努める。
- ④ 住宅地図や統計書等は、神戸市の変遷がわかるよう網羅的に収集する。
- ⑤ 行政資料は、体系的に収集する。
- ⑥ 神戸市を理解するうえで必要な資料は、マイクロフィルム・映像資料・電子媒体資料等も選択的に収集する。
- ⑦ 神戸市を舞台にした小説等の文芸作品は網羅的に収集する。作品の一部に神戸市が取り上げられたものは、選択的に収集する。
- ⑧ 神戸市出身者及び在住者の著作物は、内容が神戸市に関するものでない場合は限定的に収集する。
- ⑨ 兵庫県全般に関わる資料は、幅広く収集する。また、兵庫県内の地域資料は選択的に収集する。
- ⑩ 地域図書館は、一般に流通している郷土資料を収集し、図書館設置区域に関する資料は積極的に収集する。

(6) 外国語資料

- ① 多文化サービスの一環として利用が多いと思われる言語について、教養、レクリエーションなどの分野を中心に、海外の文化・社会事情又は日本の文化や風俗・生活習慣等を紹介する資料、外国人の日本語学習や生活支援に役立つ資料を選択的に収集する。
- ② 神戸市域で生活する外国人を含む市民を対象とし、児童図書も収集する。
- ③ 収集にあたって、日本語資料と同様に検討を行う。
- ④ 常に出版情報に留意し、蔵書が古くならないよう、新しい資料の収集に努める。

(7) 漫画等

- ① 漫画については、地域・郷土に関連する著作、社会的に一定の評価が固まっている著作、各種の漫画に関わる賞を受賞した著作、書評等に取り上げられた著作、原則としてシリーズの刊行が完結している著作から選択的に収集する。
- ② 漫画に関する評論、研究書は一般図書として検討する。
- ③ 学習漫画、古典文学等を児童向けに漫画化した資料、入門書、解説書やコミックエッセ

イなど漫画形式の資料については、個別に判断する。

(8) 大活字本、図書館利用に障害がある人のための資料

- ① 弱視者、高齢者など一般の資料を利用することが困難な利用者に対して、大活字本等を収集する。
- ② その他、点字資料・デージー図書、触る絵本など障害者が利用できる資料を選択的に収集する。

(9) 逐次刊行物

- ① 教養、レクリエーション、ビジネスや日常生活に役立つ分野を中心にある程度専門的分野まで積極的に収集する。
- ② 学術雑誌、業界誌(紙)・専門誌・機関誌(紙)は選択的に収集する。

ア 雑誌

- A 雑誌は国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に幅広く収集する。児童向け、青少年向け、外国語雑誌も収集する。
- B 幅広い分野の雑誌を収集するため、各図書館で分担して継続的に収集する。新規購入、購入の中止、休刊や廃刊に伴う雑誌の変更については、利用者の要望を参考に図書館全体の利用状況、類似誌の有無等を検討し、暦年単位で収集雑誌及び分担の調整を図る。
- C 雑誌は本誌の収集を基本とするが、別冊及び増刊号は選択的に収集する。
- D 地域図書館は、利用実態に応じて基本的な雑誌を中心に選択的に収集する。また別冊及び増刊号は限定的に収集する。

イ 新聞

新聞は国内発行の主要な全国紙及び地方紙を中心に、児童向け新聞、スポーツ紙、外国語新聞を収集する。

(10) 視聴覚資料

利用者の要望を考慮するとともに、教養、娯楽、レクリエーションを中心に客観的・社会的評価の定まった作品・演者・スポーツ試合、あるいは各種の受賞作など注目される作品から選択的に収集する。

(11) 電子図書館用資料

電子図書館に必要な電子資料等の収集は、原則図書資料に準じ、以下に留意して行う。

ア 読書に対して障害のある視覚障害者等が利用できるように音声データを含んだ資料を選択的に収集する。

イ 電子資料の特性を生かし、紙媒体では提供が難しい資料も選択的に収集する。

ウ 郷土資料・行政資料に関しては、保存対象資料の中から選択的にデジタル化し提供に努める。

(12) その他の電子媒体資料

- ①各種電子媒体資料を長期的に利用できるよう再生機器・ソフトなどの利用環境に留意して、選択的に収集する。
- ②新聞、雑誌の電子縮刷版や CD ブック等の電子媒体資料を選択的に収集する。

(13) その他

前号までに該当しないものについては、基本的考え方にのっとり判断する。

附則

この基準は平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

附則

この基準は令和 2 年 12 月 1 日から施行する。